

ヘリウム純度モニタ
簡易制御ソフトウェア (HPM-02)

取扱説明書 V1.10

3149S(改訂2) 2012.10.02



APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES

ツジ電子株式会社

〒300-0013 茨城県土浦市神立町 3739

TEL.029-832-3031(代) FAX.029-832-2662

URL <http://www.tsujicon.jp/>

E-mail info2@tsuji-denshi.co.jp

目 次

1. ソフトウェア概要	3
2. インストール	3
3. 画面操作	3

ヘリウム純度モニタ Windows簡易制御ソフトウェア HPM-02 (V1.10)

取扱説明書

Copyright (C) 2011 TSUJI-DENSHI Co. Ltd. All Rights Reserved.

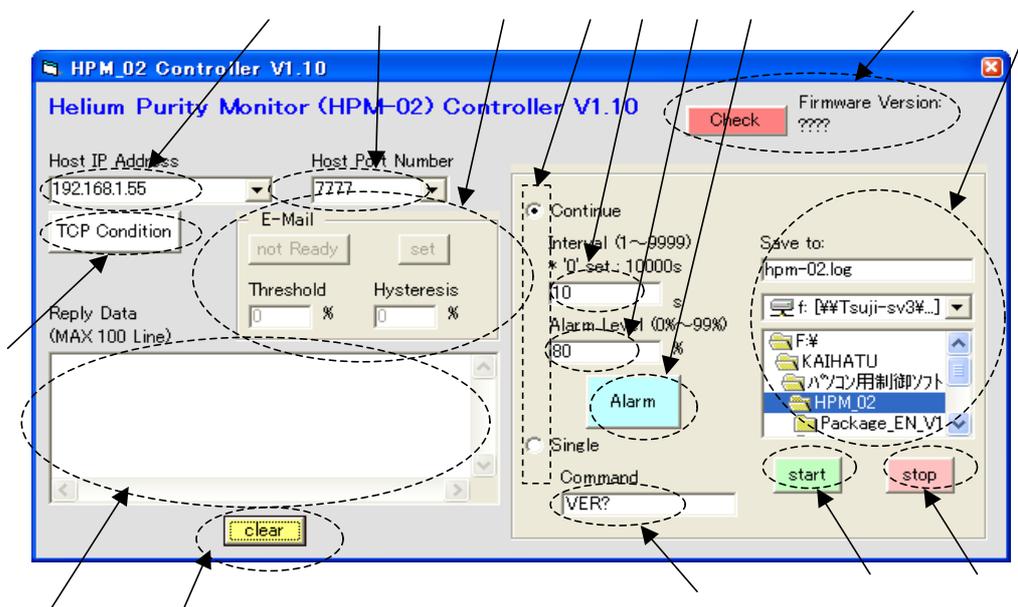
1. ソフトウェア概要

本ソフトウェアはヘリウム純度モニタ(HPM-02)の簡易制御ソフトウェアです。
ヘリウム純度・温度データを定期的に取り出すことができ、また、読み出しデータをファイルにDumpすることが可能です。
また、本バージョンより、HPM-02のE-mail機能対応となっております。

2. インストール

ダウンロードしたファイルは自動解凍型のファイルになっていますので、適当なフォルダ内に解凍します。HPM-02_V102.CAB, SETUP.LST, setup.exeの3つのファイルに解凍されます。
setup.exeをダブルクリックするとインストールが始まります。
あとは指示に従ってインストールしてください。
(WindowsXPをお使いの方は、ログイン名が日本語になっている場合うまくいかないことがあるようです。このときは半角英数字のログイン名でログインしてからインストールしてみてください。)

3. 操作画面



HPM-02のIPアドレスを設定します。

HPM-02のポート番号を設定します。

実行モードを設定します。 で設定するコマンドを単発発行するSingleモードと、“PURITY?”コマンド、“TEMP?”コマンドを定期的に発行するContinueモードのいずれかを選択します。

Continueモード選択時のコマンド発行インターバル値を設定します。

(1秒～9999秒の設定ができ、0秒と設定した場合は10000秒となります)

Continueモードでは“PURITY?”コマンド、“TEMP?”コマンドを1コマンドセットとしているので、インターバル値はコマンドセット間の時間になります。

本設定はContinueモード時のみ有効です。

Continueモード時、純度のアラーム値を設定します。

HPM-02からの純度読み出し値がここで設定したアラーム値(0%～99%)未満の場合に が赤色点滅します。点滅開始後、次の読み出し値がアラーム値以上であった場合は点滅を終了します。

本設定はContinueモード時のみ有効です。

Continueモード時、HPM-02からの純度読み出し値が で設定したアラーム値(0%～99%)

未満の場合に赤色点滅します。点滅開始後、次の読み出し値がアラーム値以上であった場合は点滅を終了します。

本表示はContinueモード時のみ有効です。

Continueモード時、読み出しデータをファイルにDumpする場合のファイル名、パス名を指定します。Dumpするデータは実行開始～実行停止間のデータとなり、Dumpデータ量に制限は設けていません。(無制限にDumpし続けます)

また、ファイル名を指定しなかった場合(空白)はファイルDumpを行いません。

本設定はContinueモード時のみ有効です。

ファイルDump例を以下に示します。

2011/05/17 10:19:33 100.0 32 %&DEG 時刻 読み出したヘリウム純度 温度 単位&単位

2011/05/17 10:19:33 100.0 32 %&DEG

:

Singleモード時、単発で発行するコマンドを設定します。

各モードのパラメータを設定後、本ボタンをクリックして実行開始します。

Continueモードで実行開始後は本ボタンで実行を停止します。

Singleモードは単発実行なので、自動で実行を終了します。

HPM-02からの応答データを表示します。

Singleモード、Continueモードに関わらず、常に表示されます。

100Line分のバッファ構成となっており、最新の100Line分のデータが確認できます。

表示内容はファイルDump内容と同様です。

の表示データバッファクリアです。ファイルにDumpするデータには影響しません。

TCP接続状態を示します。(橙色で接続状態、白色で切断状態)

本ソフトウェアでは複数のPCからの同時接続を想定しているため、Continueモードにおいて、コマンドセットごとにTCP接続を切断する構成となっています。(ただし、インターバル値を9秒以下に設定した場合は切断なしで実行停止まで接続状態を継続します)

他のPCと競合し、接続に失敗した場合は一定期間接続を複数回再試行します。

一定期間経っても接続が確立できない場合は実行を終了します。

E-mail設定をします。

E-mail機能が有効なファームウェアのみ設定可能です。

純度しきい値はThresholdの設定窓、ヒステリシス値はHysteresisの設定窓に入力してください。

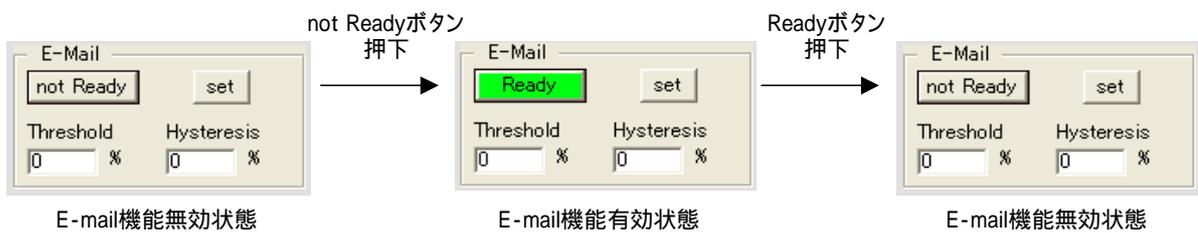
setボタンを押すと、各入力窓の数値がHPM-02本体に設定されます。

数値の意味はHPM-02本体取扱説明書をご参照ください。

E-Mail
not Ready set
Threshold 80 % Hysteresis 10 %

この状態でsetボタンを押すと、しきい値=80%、ヒステリシス値=10%に設定されます。

not Ready(Ready)となっているボタンはE-mail機能の有効/無効設定ボタンです。



E-mail機能を有効にする場合は、純度しきい値、ヒステリシス値を設定後に行ってください。

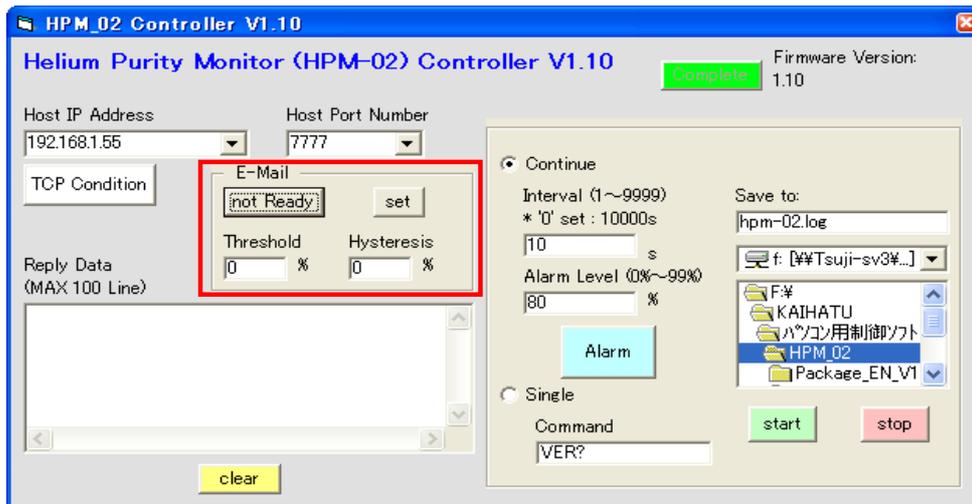
E-mail機能はHPM-02ファームウェアV1.10以降に搭載されていますので、

それ以前のバージョンではE-mail機能使用できません。

そのため、HPM-02ファームウェアバージョンを確認する必要がありますので、本ソフトウェア起動後には必ずこのCHECKボタンを押してください。

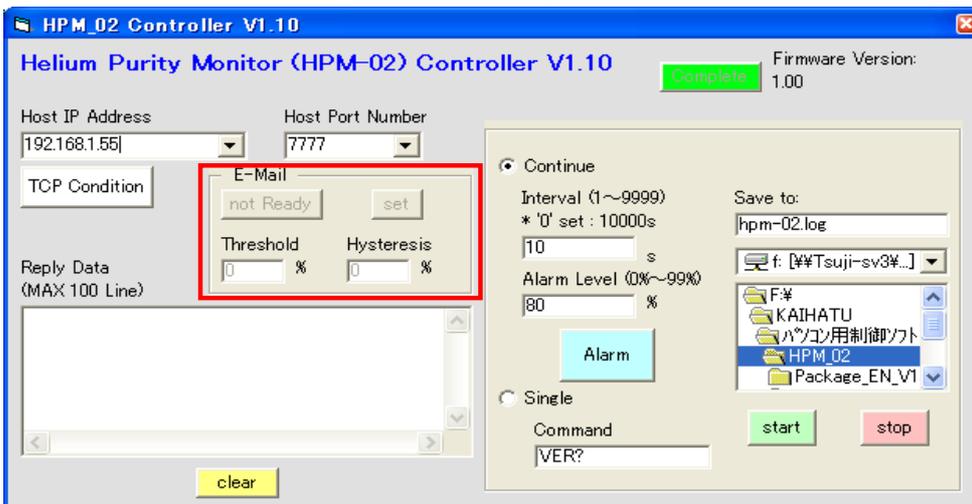
HPM-02ファームウェアバージョンによって以降の動作内容が変わります。

[HPM-02ファームウェアバージョン 1.10の場合]



E-mail機能が搭載されているバージョンなので、E-mail設定に関連するボタンが有効になります。

[HPM-02ファームウェアバージョン 1.00の場合]



E-mail機能が搭載されていないバージョンなので、E-mail設定に関連するボタンが無効になります。